



▲プロの指導を熱心に聞く野球少年たち

## ふれあい野球教室

### あこがれのプロ選手から教わる

12月13日、田川ライオンズクラブ主催の「ふれあい野球教室」が市民球場で開かれ、田川市郡の少年野球チームの選手たちが現役プロ野球選手から指導を受けました。

指導にあたったのは福岡ソフトバンクホークスの小椋真介投手や明石健志内野手ら5人。子どもたちは、ボールを遠くに飛ばすバッティングのコツやグラブさばきの基本などを教わり、プロ選手の技術を練習のなかで試していました。弓削田パワーズの山口剛侍郎さん(6年生)は「ひじをやわらかく使う投げ方を教わった。練習して覚えたい」と話していました。

## もの作りを楽しんで

### 田川小児童がソーラーカー作りに挑戦

12月18日、田川小でソーラーカー工作教室が開催され、5年生28人がペットボトルを使ってソーラーカー作りに挑戦しました。

これは、理科への興味をもってもらおうと国の理科支援事業を活用したもので、日本技術士会九州支部の小出剛さんと長野義次さんが特別講師として指導にあたりました。

説明書を見ながら組み立てた篠原真里菜さんは、「銅線などをつなぐのがむずかしかった。太陽電池のしくみがよくわかり楽しかった」と話していました。

児童たちは、完成したソーラーカーを日当たりの良い場所で走行させ、速さや距離を競っていました。



▲無事に走り、喜ぶ児童たち



▲巨大なたこを全力で引っ張る地域住民ら

## 猪位金校区鬼火タコあげ大会

### 大たこが今年も大空を舞いました

1月11日、下位登運動公園で、猪位金校区恒例の「鬼火タコあげ大会」が開かれました。

雪がちらつくなか、竹で組んだやぐらでお正月飾りなどを燃やして無病息災を祈る「鬼火」が披露されました。子どもたちが手作りのたこをあげたあと、各地区で制作した大たこが登場。たこが風に乗って新春の空に舞い上がると、参加者から大きな歓声が上がっていました。一番高くあげた「二けた会」の星野真吾さんは「うまく風に乗ってくれました」と喜んでいました。この日はTVQ九州放送のテレビ番組「きらり九州めぐり逢い」(2月7日19時放送予定)のロケも行われました。